

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

帝人フロンティアDG株式会社
(TEIJIN FRONTIER DG CO.,LTD.)

銘柄コード
法人番号
8110001024987

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	11	織維工業
細分類 (申請事業)	29	その他の織物業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	44,321	GJ	1,143	kL
前年度エネルギー総使用量				kL
非化石エネルギー総使用量		GJ		kL
調整後温室効果ガス排出量			t-CO ₂	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位 ^{※注} (2023年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合				
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比					
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)					

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	原単位分母				
	DR実施日数				
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比					
事業者全体の5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kL/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kL/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】					
種別	合計量				
Jクレジット	t-CO ₂				
-	t-CO ₂				
-	t-CO ₂				
-	t-CO ₂				

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	75%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					24%
目安設定業種					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目安設定業種	-	-	-	-	
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

（該当する場合は、該当する箇所に赤枠を付けてください）

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
下記項目について継続的に取り組みを強化しています。
 ・生産設備のインバータ化
 ・LED化の推進
 ・コンプレッサー設定圧力の低減
 ・ボイラーの保温改善

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

購入電力について、非化石電源構成の高いメニューへの切り替えと非化石証書の購入割合増加に取り組んでいます。

【取組の概要: カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄（カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について）

（該当する場合は、該当する箇所に赤枠を付けてください）

2. 関連リンク

（該当する場合は、該当する箇所に赤枠を付けてください）

（注意事項）

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。

原単位の改善のための取組に関する状況【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

DG株式会社
(DG CO.,LTD.)

銘柄コード
法人番号
8110001024987

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	11	織維工業
細分類 (申請事業)	29	その他の織物業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	37,035	GJ	955.50	kL
前年度エネルギー総使用量				kL
非化石エネルギー総使用量		GJ		kL
調整後温室効果ガス排出量			t-CO ₂	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位 ^{※注} (2024年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合 %				
2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
事業者全体のエネルギー消費原単位 対前年度比					
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)					

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)	原単位分母				
	DR実施日数				
2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
事業者全体の電気需要最適化評価原単位 対前年度比					
事業者全体の5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kL/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kL/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】					
種別	合計量				
Jクレジット	t-CO ₂				
-	t-CO ₂				
-	t-CO ₂				
-	t-CO ₂				

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	75.0%				
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目安設定業種					23.1
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目安設定業種	-	-	-	-	
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

（該当する場合は、該当する箇所に赤枠を付けてください）

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

下記項目について継続的に取り組みを強化しています。

- ・生産設備のインバータ化
- ・LED化の推進
- ・コンプレッサー設定圧力の低減
- ・ボイラーの保温改善
- ・2基のボイラーの統合制御による燃焼効率の向上

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

購入電力について、非化石電源構成の高いメニューへの切り替えと非化石証書の購入割合増加に取り組んでいます。

【取組の概要: カーボンニュートラルに向けて】

（該当する場合は、該当する箇所に赤枠を付けてください）

1. 自由記述欄（カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について）
2. 関連リンク

（注意事項）

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。